

# 消音ピアノユニット SPA-5500 取扱説明書

このたびは、「消音ピアノユニット SPA-5500」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願い申し上げます。



# 目 次

1. SPA-5500の特長	1
2. 使用上の注意	2
3. 各部名称	3
4. 使用方法	5
5. デモ演奏を聴く	6
6. 録音と再生	7
7. 変速再生	8
8. メトロノームを使う	9
9. 音色設定	11
10. リバース設定	13
11. MIDI端子・RS232端子	14
MIDI端子接続例	15
RS232端子接続例	16
音源BOX内設定ピンの変更	17
MIDIインプリメンテーションチャート	18
12. 本体仕様	19
13. 故障かな?と思ったら	20
14. アフターサービス	21

# 1. SPA-5500の特長

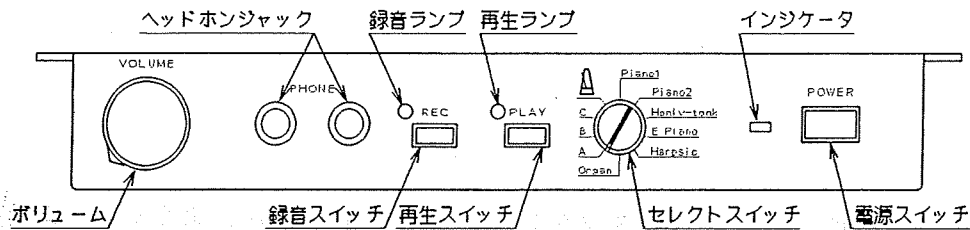
- お手持ちのピアノに取り付けるだけで、消音ピアノとしてご使用いただけます。
- ワンタッチ操作で、消音ピアノ $\leftrightarrow$ ピアノ実音の切り換えができます。
- 消音ピアノユニットを取り付けても、鍵盤のタッチは損なわれません。
- 消音時でもソフトペダル、ダンパーペダル操作が可能です（オン／オフ式）。
- 9種類の音色が選択できます（内3種類は73音色中から選択可能）。
- 内蔵のメトロノームに合わせて演奏ができます。
- 録音機能により、演奏を繰り返し聴くことができます。また、再生速度の調整も可能です（1/2から2倍まで）。
- MIDI端子やRS232端子にてパソコンと接続ができます。パソコン接続により、本機はMIDI音源やMIDIキーボードとして使用可能です。
- ライン出力端子によりオーディオ機器との接続ができます。
- 最大同時発音数は48音です。
- 高品質のPCM音源を使用し、生に近い音を実現しています。  
※ただし、ご使用のピアノとは音色が異なります。

## 2. 使用上のご注意

消音ピアノユニットを末永くご使用いただくために、次の注意事項を守ってご使用下さい。

- 分解したり、改造をしないで下さい。
- お手入れの際は、必ずACアダプタをコンセントから抜き、柔らかい布で軽く拭き取って下さい。また、ベンジンやシンナーで拭くことはお避け下さい。
- ACアダプタはAC100V以外では、絶対に使わないで下さい。  
また、コンセントの抜き差しは、コードを引っ張ったり、ぬれた手では行わないで下さい。
- 電源コードは、無理に曲げたり重い物を乗せたりしないで下さい。また、長時間ご使用にならないときは、必ずACアダプタを抜いて下さい。
- ヘッドホンプラグの抜き差しは、プラグを持って行って下さい。  
無理に力をかけるとコードの断線により音が出なくなることがあります。
- 高温多湿は避けて下さい。また、本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 強い衝撃を与えたり、異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュース、酒など）を入れないように注意して下さい。

### 3. 各部の名称



#### 音源BOX前面

##### ボリュウム

ヘッドホンの音量、ライン出力端子の音量を調節します。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。

##### ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。同時に2つのヘッドホンへ音を出力できます。

##### セレクトスイッチ

発音する音色を選択します。A、B、Cの音色は設定変更が可能です（9頁）。

Piano1（ホームピアノ）

Piano2（ブライトピアノ）

Honky-tonk（ホンキートンクピアノ）

E. Piano1（エレクトリックピアノ）

Harpsic.（ハープシコード）

Organ（オルガン）

A（出荷設定 ピオラ）

B（出荷設定 シンセサイザー）

C（出荷設定 ビブラホーン）

メトロノーム（メトロノームのオン／オフ及び、拍子等の設定変更：7頁）

##### 録音スイッチ／録音ランプ

録音スイッチを押すと録音ランプが点灯して演奏の録音を開始します（5頁）。

もう一度押すと録音ランプが消灯して録音を終了します。

##### 再生スイッチ／再生ランプ

再生スイッチを押すと再生ランプが点灯して録音した演奏を再生します。

もう一度押すと再生ランプが消灯して再生を終了します。

再生スイッチを押しながら電源を入れることにより、デモ演奏を再生することができます（4頁）。

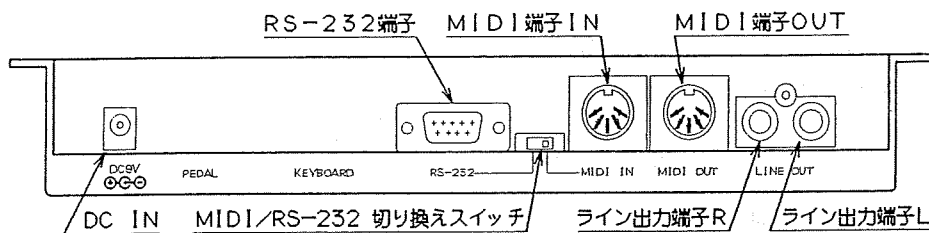
##### インジケータ

電源を投入すると点灯します。また、このランプは音源BOXの発音表示も兼ねており、音源BOXが発音しているときに点滅します。

##### 電源スイッチ

電源の入／切を行います。

[注意！] ご使用後は必ず電源を切って下さい。



## 音源BOX背面

### DC IN

付属のACアダプタを接続します。

[注意！] 付属品以外のACアダプタは、絶対に使用しないで下さい。

### RS232端子

専用ケーブルを使用してパソコン（DOS/V、\*マッキントッシュ）と接続、MIDIメッセージの送受信ができます。

### MIDI端子

MIDI規格の製品と接続ができます。

MIDI IN : MIDIメッセージを受信します。

MIDI OUT : MIDIメッセージを送信します。

### MIDI/RS232 切り換えスイッチ

MIDI端子とRS232端子のどちらを使用するかを切り換えるスイッチです。

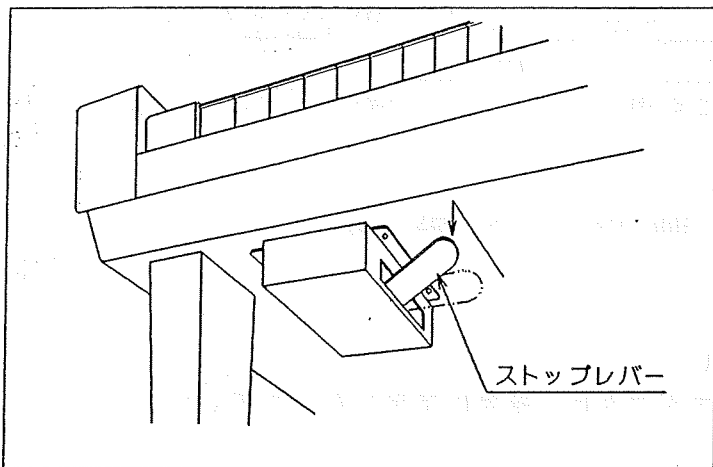
### ライン出力端子

音源BOXの音を外部オーディオ機器へ出力します。音源BOX前面にあるボリュームにて出力レベルを調整できます。

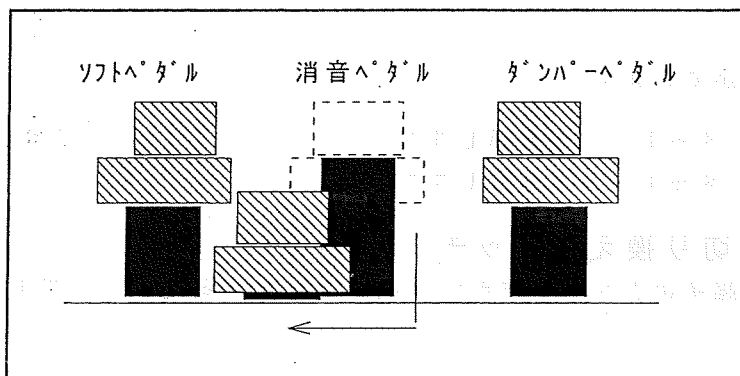
\* マッキントッシュ (MAC) は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。

## 4 使用方法

- (1) ストップレバーを手前に引き固定します。または、ペダルが3本あるピアノは消音ペダルを踏んで左に固定します。



ストップレバー



ペダル3本のピアノ

- (2) ACアダプタがコンセントに差し込まれていることを確認して下さい。  
(3) ボリュームが最小であることを確認して、電源スイッチをオンにします。  
(4) セレクトスイッチを好みの音色に選択します。  
(5) ボリュームを適切な位置に調整します。  
(6) ヘッドホンで演奏をお楽しみ下さい。  
(7) ご使用後は、ボリュームを最小にしてから、電源スイッチをオフにして下さい。  
なお、長時間ご使用にならない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいて下さい。



## 5. デモ演奏を聴く

音源BOXによるデモ演奏を聴くことができます。曲数は全5曲で、1～3曲目は生演奏を収録したものです。

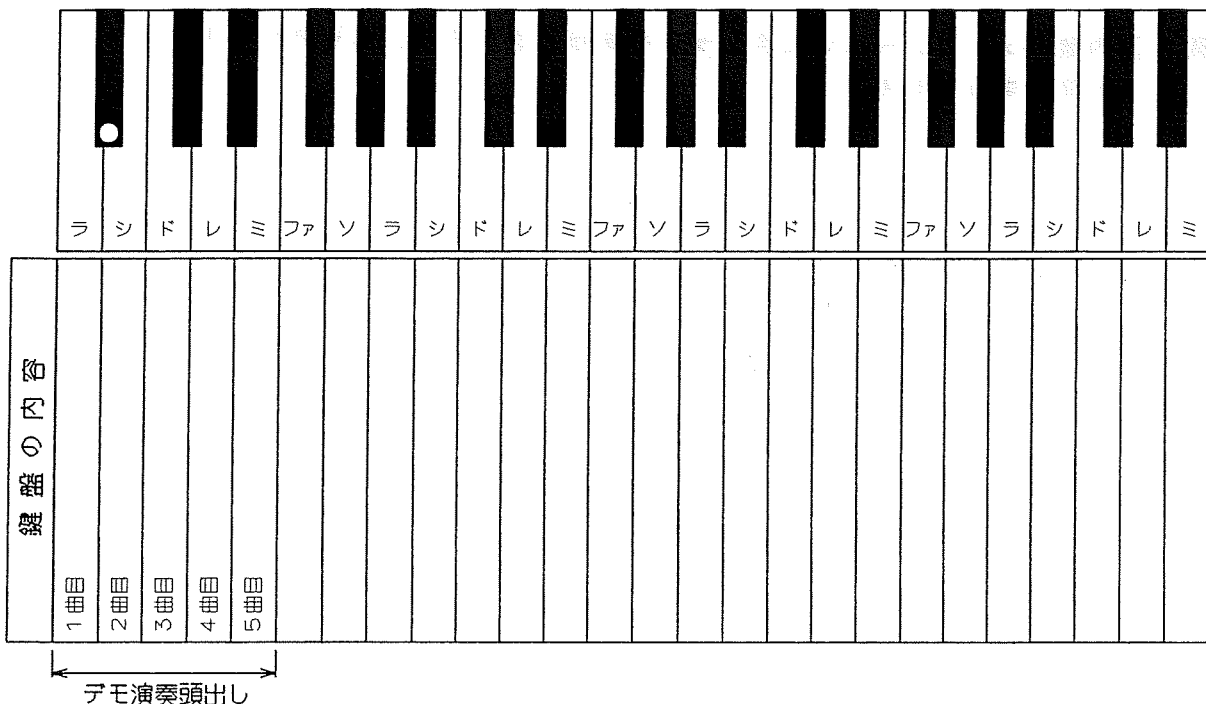
曲順	演奏	曲名	作曲者
1	ピアノ	乙女の祈り	バダジェスカ
2	ピアノ	主よ人の望みの喜びよ	J.S.バッハ
3	ピアノ	リベルタンゴ	アストラ・ピアソラ
4	アンサンブル	オリジナル1	—
5	アンサンブル	オリジナル2	—

### 設定方法

- (1) 再生スイッチを押しながら、電源を入れます。
- (2) 再生ランプが点滅して、1曲目から順に演奏を開始します。デモ演奏中は下記鍵盤を押すことにより、曲を選択することができます。また、○印の鍵盤を押すことで、1曲目から順に全曲演奏されます。
- (3) デモ演奏を終了する時は、再生スイッチをもう一度押して下さい。

[注意！] デモ演奏中は、鍵盤からの音は出ません。

### 鍵盤左側



## 6. 録音と再生

演奏した内容の録音と再生が行えます。連弾や反復練習などに便利です。

### 使用方法

- (1) セレクトスイッチを好みの音色に選択します。
- (2) 録音ボタンを押します。録音ランプが点灯して、準備完了です。
- (3) 演奏を行います。演奏が始まると同時に録音を開始します。
- (4) 演奏が終了したら、録音ボタンをもう一度押します。同時に録音ランプが消灯して、録音が完了します。

- [注意！]
- ・録音した内容は、録音ボタンを押しながら電源スイッチを入れるとチャイム音が鳴り、消すことができます。
  - ・録音される内容は、演奏情報とペダル操作及び、選択された音色です。
  - ・パソコンとの接続によりMIDI演奏を録音することも可能です。
  - ・録音数は1演奏のみです。新たに録音操作を行うと前回の録音内容は消えてしまいます。
  - ・録音容量は約10,000音ですがペダル操作やセレクトスイッチの切り換え等も含みます。録音中に録音容量がいっぱいになると、録音は自動停止されます。
  - ・録音した内容は電源を切っても約1週間は保存されます。

- (5) 再生ボタンを押すことで、再生ランプが点灯して、約1秒後に演奏が再生されます。再生中も鍵盤からの演奏が可能です。
- (6) 再生を終了したい時は、再生ボタンをもう一度押します。同時に再生ランプが消灯して、再生が止まります。

※再生速度は変更できます（次頁の変速再生をご覧ください）。

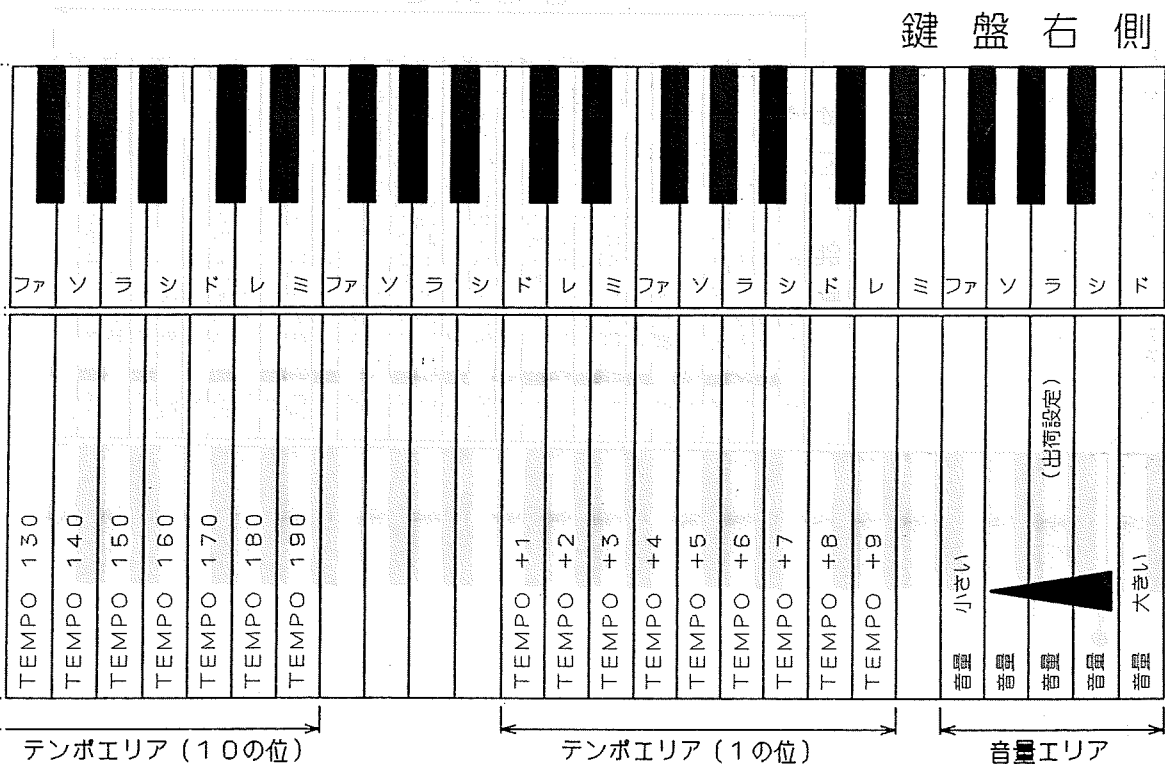
- [注意！] 内蔵のメトロノーム音に合わせた録音はできますが、再生時にメトロノーム音は鳴りません。





## メトロノームを止める

- (1) メトロノーム音を止める時は、セレクトスイッチをメトロノームマークに合わせて、ダンパー（右）ペダルを踏んで下さい。
- (2) セレクトスイッチを好みの音色に切り換えて演奏を行って下さい。

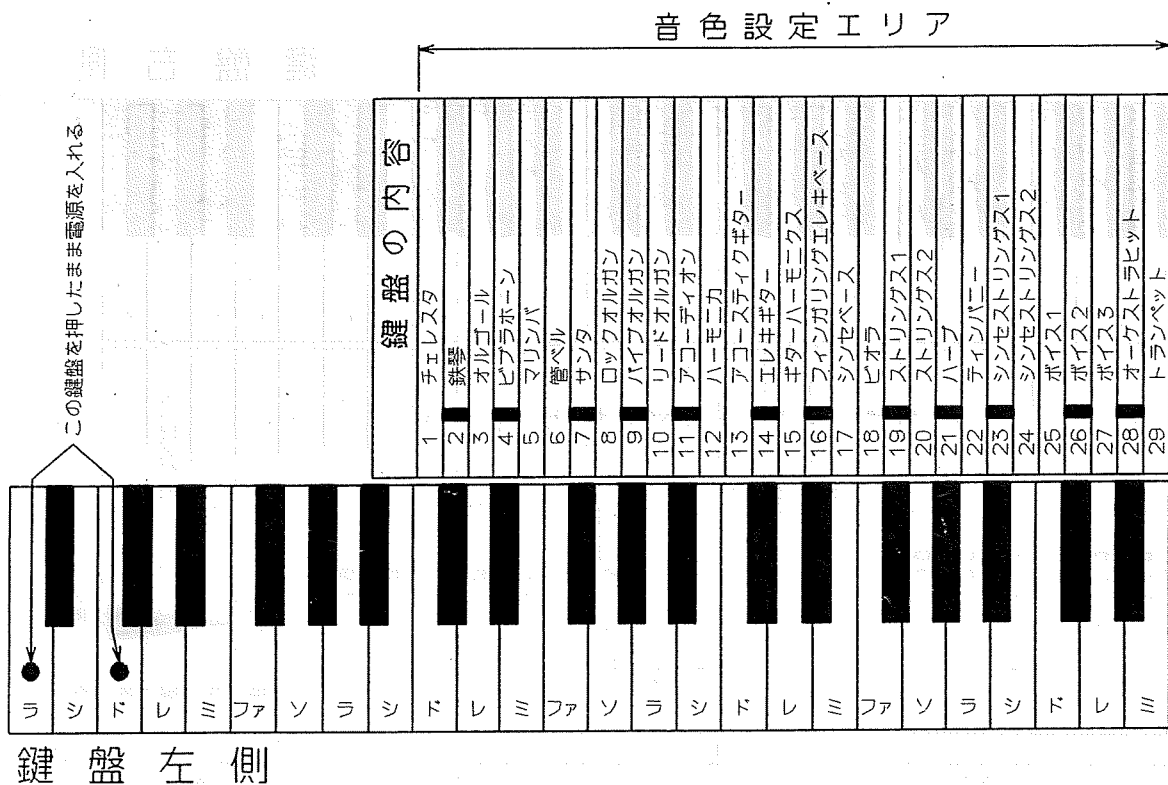


## 9. 音色設定

セレクトスイッチのA, B, Cに73音色中から好みの音色を設定することができます。

### 設定方法

- (1) セレクトスイッチを設定したい位置 (A ~ C) に合わせます。
- (2) ●印の鍵盤を押しながら、電源を入れます。音色設定モードになったことをチャイム音でお知らせます。
- (3) ●印の鍵盤を押したままで、下記鍵盤表の `音色設定エリア` より好みの音色を選択します。
- (4) ●印の鍵盤から指を離します。この時、(3) で選択した最後の音色が、セレクトスイッチを合わせている位置 (A ~ C) に設定されます。セレクトスイッチ (A ~ C) に設定した音色は電源を切っても変更されません。



音色設定エリア

30	トロンボーン		
31	チューバ		
32	フレンチホルン		
33	フランス隊		
34	シンセブラス		
35	オーボエ		
36	バスーン		
37	クラリネット		
38	ピッコロ		
39	フルート		
40	リコーダー		
41	パンフルート		
42	尺八		
43	オカリナ		
44	シンセサイザー-1		
45	シンセサイザー-2		
46	シンセサイザー-3		
47	シンセサイザー-4		
48	シンセサイザー-5		
49	シンセサイザー-6		
50	シンセサイザー-7		
51	シンセサイザー-8		
52	シンセサイザー-9		
53	シンセサイザー-10		
54	シンセサイザー-11		
55	シンセサイザー-12		
56	シンセサイザー-13		
57	シンセサイザー-14		
58	シンセサイザー-15		
59	シンセサイザー-16		
60	シンセサイザー-17		
61	シンセサイザー-18		
62	シンセサイザー-19		
63	ギター		
64	バンジョー		
65	三味線		
66	琴		
67	バグパイプ		
68	スチールドラム		
69	太鼓		
70	尺八		
71	ヘリコプター		
72	拍手		
73	ガンショット		

鍵盤右側

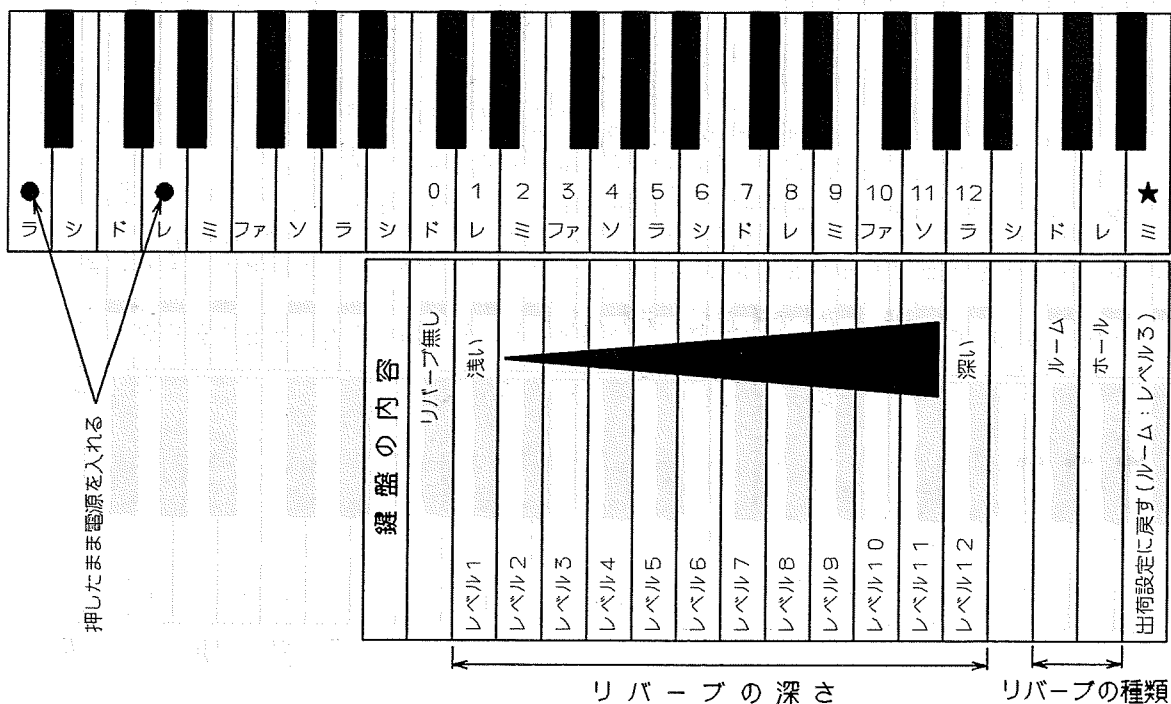
# 10. リバーブ設定

リバーブ（音の残響）を好みの種類と深さに設定できます。リバーブの種類には、ルームタイプ（室内の響き）、ホールタイプ（コンサートホールの響き）があります。

## 設定方法

- (1) ●印の鍵盤を押しながら、電源を入れます。リバーブ設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) ●印の鍵盤を押したままで、下記鍵盤表より「リバーブの種類」（ルームタイプかホールタイプ）と「リバーブの深さ」を選択します。種類と深さはどちらからでも設定が可能です。また、★印の鍵盤を押すことで出荷設定（ルームタイプ、レベル3）に戻すことができます。
- (3) ●印の鍵盤から指を離します。この時、(2)で選択した最後のリバーブの種類と深さが設定されます。設定は電源を切っても変更されません。

## 鍵盤左側





# 1 1 . M I D I 端 子 ・ R S 2 3 2 端 子

## M I D I と は

M u s i c a l I n s t r u m e n t D i g i t a l I n t e r f a c e の略で、楽器の演奏情報や音色の切り換え情報などを伝送することができる世界統一の規格です。SPA-5500はGM (General MIDI) スタンドに準拠しており、市販のGM対応演奏データなどをパソコンやMIDI機器より演奏することができます。

## M I D I 端 子

市販のMIDIケーブルを使用してMIDI規格の製品に接続できます。

音源BOXに装備されるMIDI端子はINとOUTの2種類です。

M I D I I N : 他 の M I D I 機 器 か ら M I D I メ ッ セ ー ジ を 受 信 し ま す 。

M I D I O U T : 他 の M I D I 機 器 へ M I D I メ ッ セ ー ジ を 送 信 し ま す 。

## R S 2 3 2 端 子

オプションの専用ケーブルを使用してパソコンと接続することにより、MIDIメッセージの送受信が行えます。

対応機種：DOS/V機 (PC/AT互換機、\*NXシリーズなど)、  
マッキントッシュ

[注意！] MIDIシーケンサ等のアプリケーションは別途お買い求め下さい。

また、RS232接続の場合、パソコンにシリアルドライバの組み込みが必要になります。

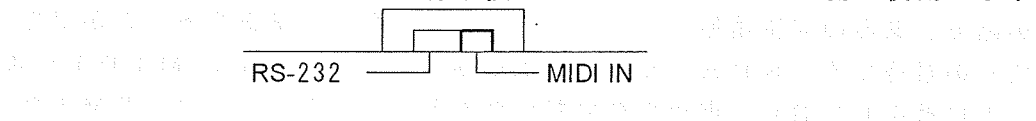
## M I D I チ ャ ネ ル の 仕 様

SPA-5500では、鍵盤による演奏データをMIDIチャンネル1へ出力しています。また、録音したデータの再生はMIDIチャンネル16を使用しています。外部MIDI機器からSPA-5500へMIDIデータを送る際は、チャンネル1と16を避けてMIDIメッセージを送信して下さい。これらチャンネルにデータを入力して音色が変更された場合は、セレクトスイッチを一度切り換えるか、電源の再投入を行えば、元の音色に戻すことができます。

\*NXは日本電気株式会社の登録商標です

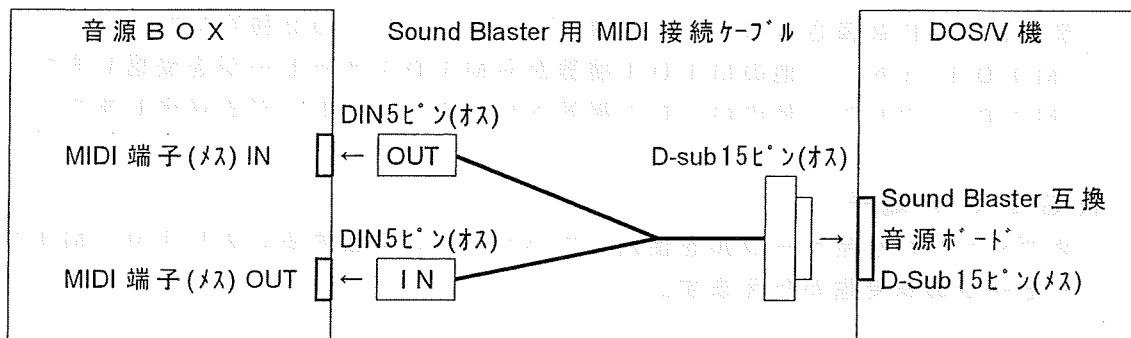
## MIDI 端子接続例

音源BOXのMIDI/RS232切り換えスイッチはMIDI側で使用します。



### 音源ボード搭載パソコンの場合 (DOS/V機)

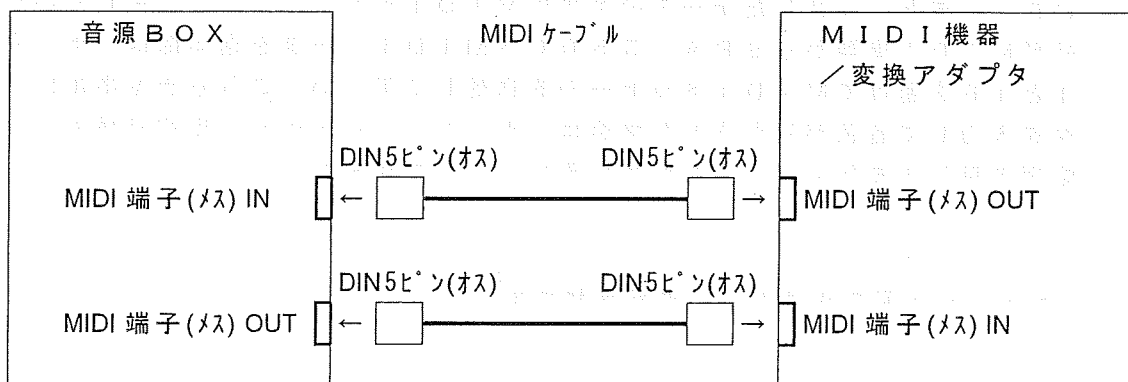
DOS/V機に装備される\*Sound Blaster互換の音源ボードに市販のSound Blaster用MIDI接続ケーブルを使用して、音源BOXと接続します。



\*Sound Blasterは、Creative Technology ltd. の商標です。

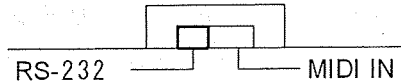
### MIDI 機器や変換アダプタの場合

MIDI 機器や変換アダプタなどの場合は、市販のMIDIケーブルを使用して接続します。送信と受信の両方を行う際は、MIDIケーブルを2本使用して下さい。



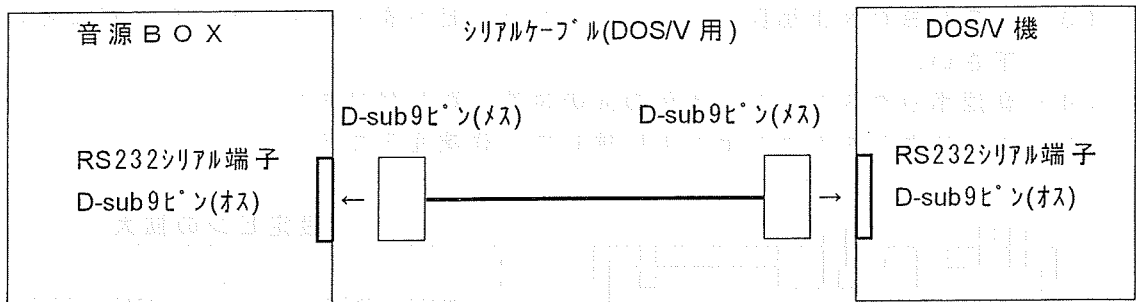
## RS232端子による接続例

音源BOXのMIDI/RS232切り換えスイッチはRS232側で使用します。



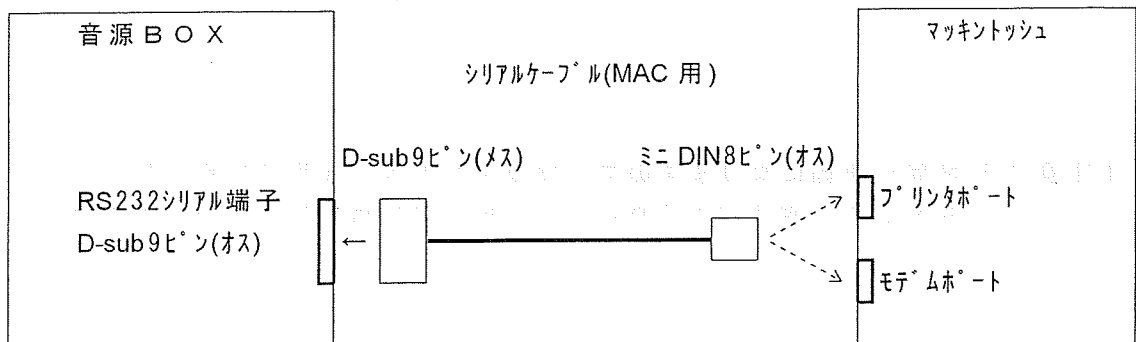
### DOS/V機の場合

DOS/V機との接続には別売りのシリアルケーブル(DOS/V用)を使用します。DOS/V機にはMIDIシリアルドライバソフトの組み込みが必要となります(ローランド社製 Roland Serial MIDI Driver で動作確認済み)。



### マッキントッシュの場合

マッキントッシュとの接続には別売りのシリアルケーブル(MAC用)を使用します。マッキントッシュ側はモデムポート、又はプリンタポートに接続します。別途音源BOX内のジャンパーピンの変更が必要となります(15頁)。マッキントッシュにはMIDIシリアルドライバの組み込みが必要となります(OPCODE社製OMSで動作確認済み)。



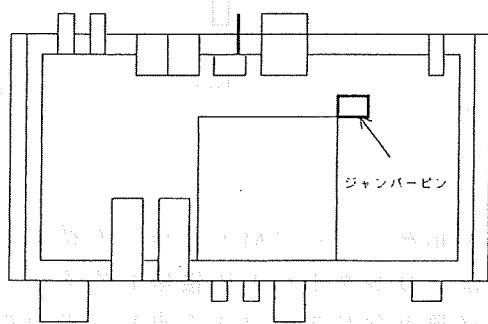
※文中の商品名、会社名等は各会社の商標及び登録商標です。

## RS232切り換えジャンパーピンの変更

RS232端子によるマッキントッシュとの接続には音源BOX内のジャンパーピンの差し替えが必要です。ピアノ本体に付いている音源BOXを外して作業を行ってください。ご不明な点がございましたら販売店までご相談下さい。

### 作業手順

- (1) 電源が切れていることを確認して、ACアダプタをコンセントから抜いて下さい。
- (2) ピアノ本体に取り付けられている音源BOXを、プラスドライバーを使ってネジを緩めて、取り外します。
- (3) 音源BOX上面図に示すジャンパーピンをマッキントッシュ用に差し替えて下さい。
- (4) 音源ボックスをピアノ本体の元の位置に取り付けます。
- (5) ACアダプタをコンセントに挿して、作業完了です。



音源BOX上面図

### 設定ピンの拡大

SW4 R52



DOS/V 用  
(工場出荷時)

SW4 R52



マッキントッシュ用

[注意！] 故障の原因になりますので、マッキントッシュ用の設定にして、RS232端子によるDOS/V機との接続は行わないで下さい。

MIDI インプリメンテーションチャート

ファンクション・・・	送信	受信	備考
ベーシック電源 ON 時	1	1 - 16	鍵盤演奏は 1
チャンネル設定可能	x	1 - 16	録音再生は 1 6
モード電源 ON 時	3	3	
メッセージ	x	MONO、POLY	
代用	*****		
ノート	21 - 108	0 - 127	
ナンバー: 音域	*****	0 - 127	
ベロシティ ノート・オン	○	○	
ノート・オフ	x	x	
アフターキー別	x	○	
タッチチャンネル別	x	○	
ピッチ・ベンド	x	○	
コントロール 64	○ (サステーン)	○ (サステーン)	右ペダル
チェンジ 67	○ (ソフト)	○ (ソフト)	左ペダル
00		○ (バンクセレクト)	
01		○ (モジュレーション)	
05		○ (ホルタメントタイム)	
06		○ (テータイントリ)	
07		○ (ヴォリューム)	
10		○ (パン)	
11		○ (エクスプレッション)	
65		○ (ホルタメント オン/オフ)	
91		○ (リハーフ)	
93		○ (コーラス)	
120		○ (オール サウンド オフ)	
98, 99		○ NRPN LSB, MSB	
100, 101		○ RPN LSB, MSB	
プログラム	○	○	
チェンジ:設定可能範囲	*****	0 - 127	
エクスクルーシブ	○	○	
:ソング・ポジション	x	x	
コモン:ソング・セレクト	x	x	
:チューン	x	x	
リアル :クロック	x	x	
タイム :コマンド	x	x	
:ローカル ON/OFF	x	○	
その他:オール・ノートオフ	x	○	
:アクティブセンシング	x	x	
:リセット	x	x	
備考			

モード 1 : オムニ・オン、ポリ  
 モード 3 : オムニ・オフ、ポリ

モード 2 : オムニ・オン、モノ  
 モード 4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり  
 x : なし

## 1 2 . 本体仕様

同時最大発音数	48音	
音色選択	ピアノ1、ピアノ2、ホンキートンクピアノ、ハーブシコード、 エレクトリックピアノ、オルガン その他（73音色中の3音色を選択可能）	
リバーブ	ルーム、ホール（残響量選択可能）	
メトロノーム	拍子：なし、2、3、4、5、6、8 テンポ：30～199	
録音・再生	1トラック、録音容量約10,000音、変速再生（1/2～2倍）	
チューニング	±50セント（427～440～453Hz）	
黒鍵音量調整	±5段階調整	
鍵盤取付調整	5段階調整	
デモ演奏	5曲（ピアノ：3曲、アンサンブル：2曲）	
外部端子	アナログ	ヘッドホンジャック×2（8～35Ω）、ライン出力端子（R/L） アダプタ入力端子
	デジタル	MIDI端子（IN/OUT）：31.25Kbps PC接続端子（RS232）：DOS/V 38.4Kbps ：MAC 31.25Kbps（1MHz出力）
電源電圧／消費電流	DC+9V／25W（専用ACアダプタ）	
付属品	ヘッドホン、ストップレバー、ACアダプタ、 取扱説明書（本書）	
オプション	PC接続用シリアルケーブル（DOS/V用、MAC用）	

●製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 1 3 故障かな？と思ったら

思ったように動作しないときは、まず次の点をチェックして下さい。チェックしてもなおらないときは、お買い上げ店にご連絡下さい。

### ●音が鳴らない

- ・ A Cアダプタは、コンセントに差し込まれていますか？
- ・ 音源 B O X 裏の D C I N に A C アダプタジャックが差し込まれていますか？
- ・ 電源スイッチは、入っていますか？
- ・ 音源 B O X のインジケータは点灯していますか？
- ・ 鍵盤を弾いて、インジケータが点滅しますか？
- ・ ボリュームが、下がっていませんか？
- ・ セレクトスイッチの位置が、メトロノームになっていませんか？
- ・ ヘッドホンジャックが最後まで差し込まれていますか？

### ●音が抜ける

- ・ 同時発音数が多い時（例：ダンパーペダルを踏みながら多くの鍵盤を弾く）に、発音数が足りなくなり音が消えることがあります。これは故障ではありません。

## 14. アフターサービス

ご購入後下記の期間、正常な使用方法において発生した故障につきましては、無償で修理いたします。

故障した場合にはお買い上げになった販売店へご連絡下さい。

	保証期間
本体	1年間
ヘッドホン	6ヶ月
ACアダプタ	6ヶ月

販売店名：

住所：

電話番号：



メ 毛

A large rectangular box with a solid black border, containing 20 horizontal dashed lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the box.

メ モ

A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, providing a guide for handwriting. The box is intended for taking notes or writing a memo.

---

消音ピアノユニット SPA-5500  
取扱説明書

発行日 平成12年 2月 15日

製造元：ニッシンエレクトロ株式会社  
住所：〒188-0014 東京都西東京市芝久保町4-4-32  
電話番号：0424-65-9321（代）  
FAX：0424-65-7255

---

本書の内容は改善の為、予告なしに変更することがあります。

---

新編 新編 新編 新編 新編  
新編 新編 新編 新編 新編

新編 新編 新編 新編 新編

新編 新編 新編 新編 新編  
新編 新編 新編 新編 新編  
新編 新編 新編 新編 新編  
新編 新編 新編 新編 新編

---

新編 新編 新編 新編 新編

# 消音ピアノユニット SPA-5500 取付設定

このたびは、「消音ピアノユニット SPA-5500」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

## **注意！**

本書の内容は、SPA-5500取付時にお客様のピアノに合わせて、調律師が設定を行います。お客様は本書の設定を行わないようお願い致します。

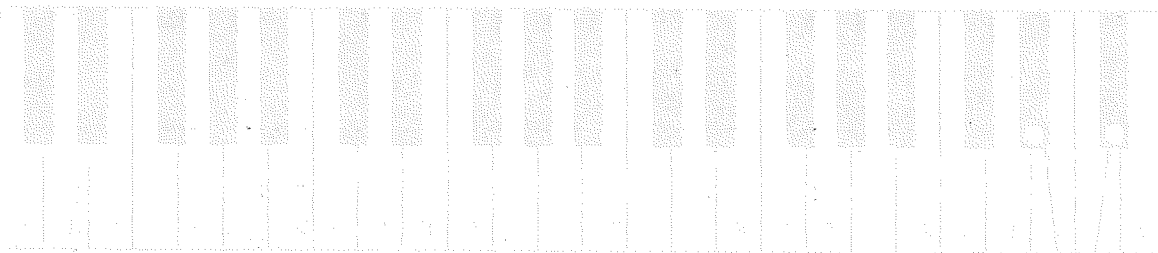


本機はお客様のピアノに合わせて、チューニング、鍵盤取付調整及び、黒鍵音量調整の設定が可能です。

## 目次

1. チューニング	1
2. 鍵盤取付調整	3
3. 黒鍵音量調整	4
4. 各鍵盤ごとのレベル調整（左側44鍵盤）	5
5. 各鍵盤ごとのレベル調整（右側44鍵盤）	6
6. 出荷設定に戻す	7

## 目次



調整  
レベル  
調整

# 1. チューニング

SPA-5500の調律をお客様のピアノの調律状態に合わせることができます。

## 設定方法

- (1) ストップレバーを解除して下さい。
- (2) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。
- (3) ○印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表の「チューニングの設定」より●印の鍵盤にて本機が発音する音程を、+印、-印の鍵盤を使ってピアノ実音の音程に合わせます。

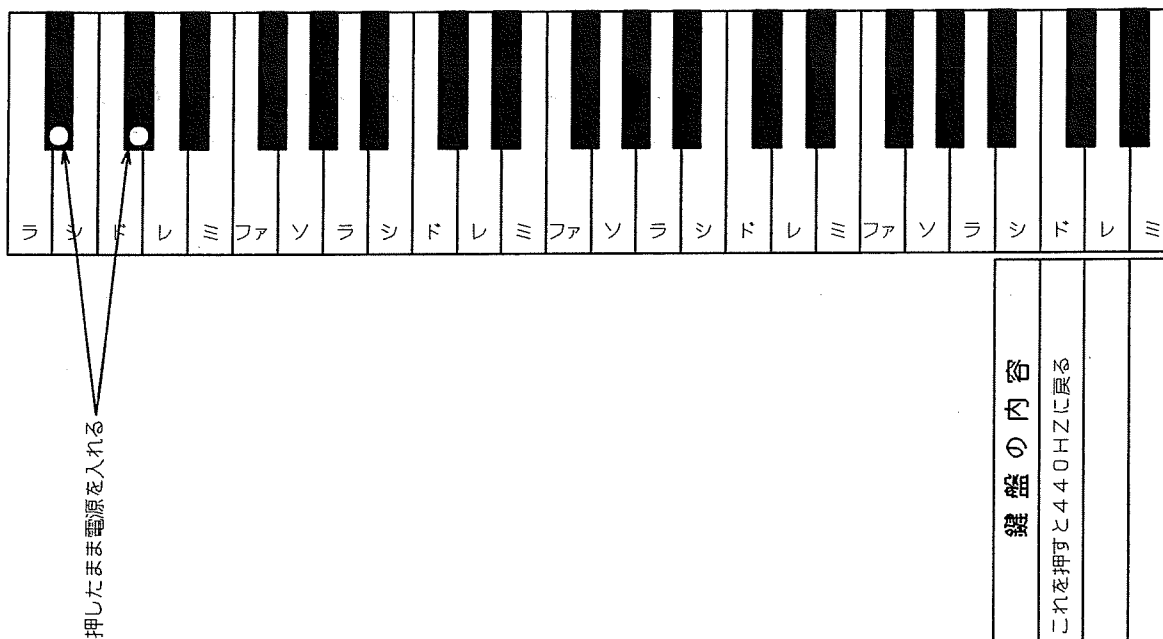
+印の鍵盤は1回の打鍵毎に約+1セント(最大+50セント)

-印の鍵盤は1回の打鍵毎に約-1セント(最大-50セント)

- (4) チューニングが終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、チューニングで合わせた最後の音程に設定されます。

[注意！] 設定した内容は電源を切っても変更されません。

## 鍵盤左側





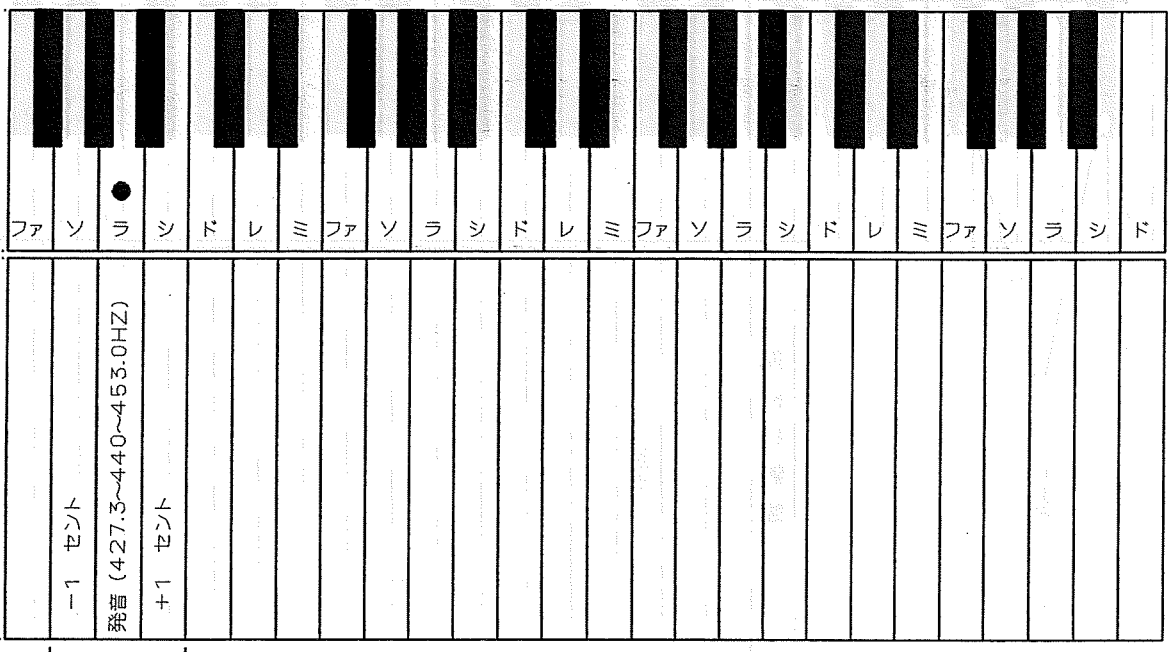
電子楽器の調音と音質調整の重要性について説明します。

### 電子楽器

電子楽器は、従来の楽器とは異なり、デジタル技術を用いて音を生み出します。そのため、音の正確な再現と安定した音質の維持が非常に重要です。特に、デジタルシンセサイザーや電子ピアノでは、各鍵盤の音高を個別に調整できる機能（チューニング設定）が備わっています。これは、環境の変化や経年劣化による音高のずれを修正し、常に最適な音質を演出するための重要な手段です。

この設定を行うことで、楽器の音質を大幅に向上させることができます。

### 鍵盤 右側



チューニングの設定

## 2. 鍵盤取付調整

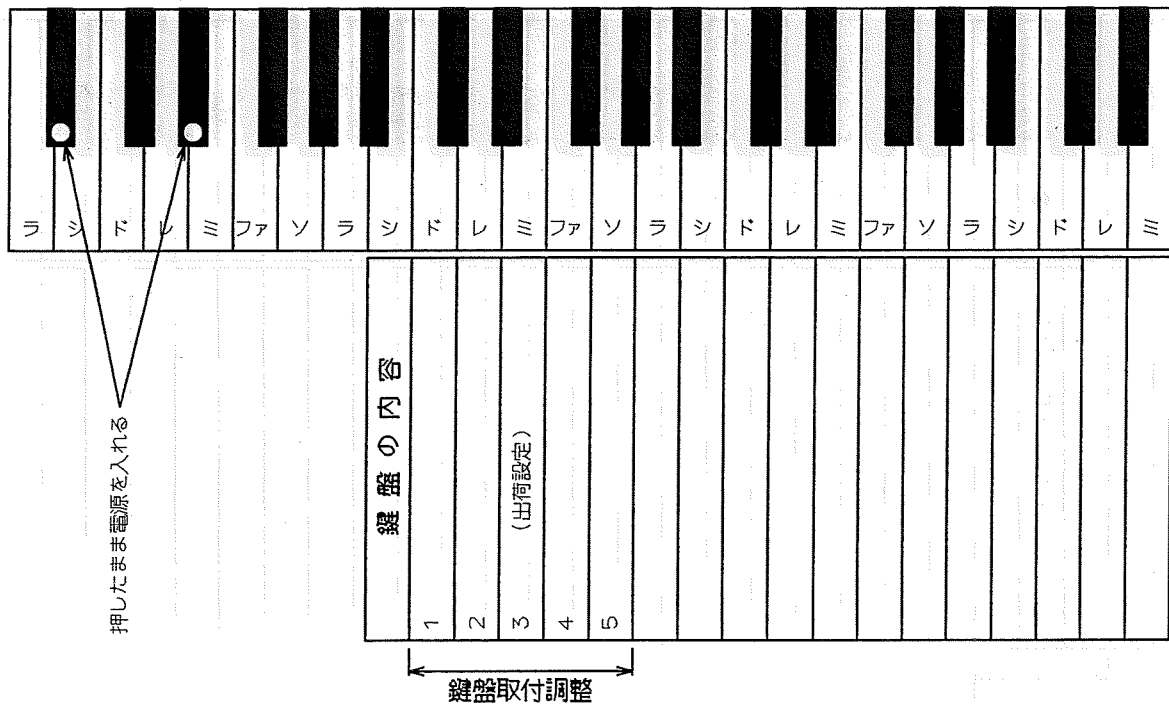
お客様のピアノの鍵盤を弾く力の強弱と本機からの音の強弱を最適にします。

### 設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。
- (2) ○印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表の「鍵盤取付調整」1～5より、お客様のピアノ実音の強弱に近い番号を選びます。
- (3) 1～5の選択が終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した1～5に設定されます。

[注意！] 設定した内容は電源を切っても変更されません。

### 鍵盤左側



### 3. 黒鍵音量調整

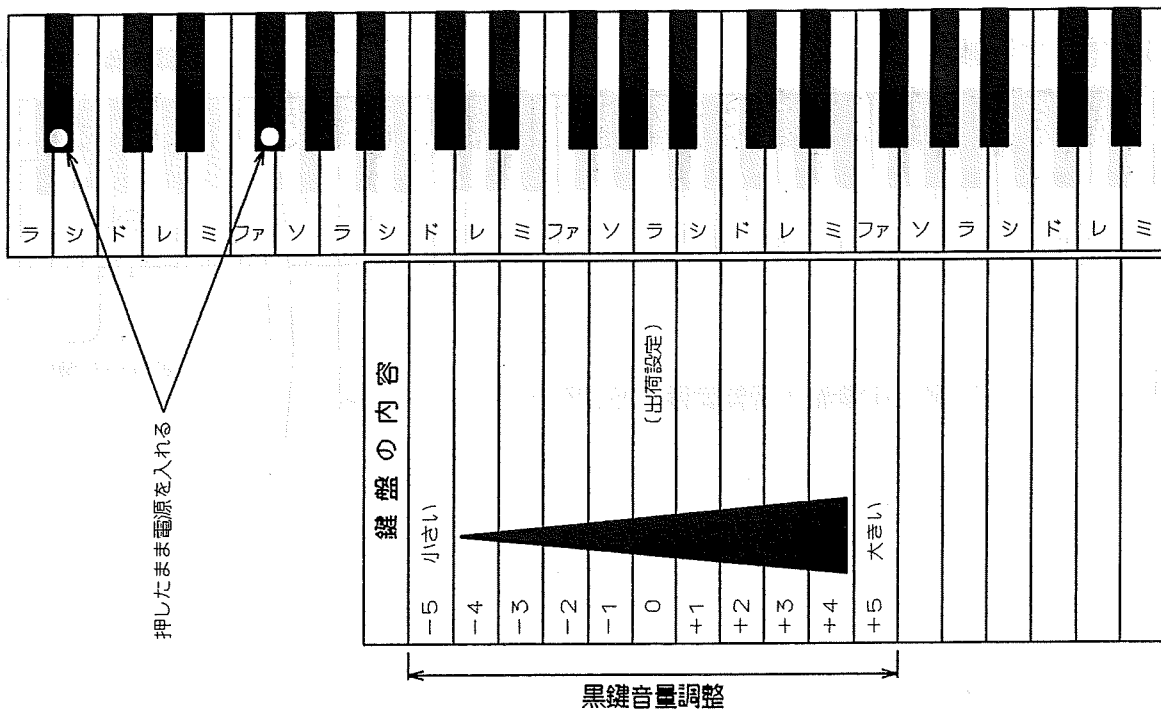
白鍵と黒鍵の音量差を調整することができます。

#### 設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。
- (2) ○印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表より、白鍵音量に合った「黒鍵音量」を選択します
- (3) 黒鍵音量の選択が終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した黒鍵音量に設定されます。

[注意！] 設定した内容は電源を切っても変更されません。

#### 鍵盤左側



## 4. 各鍵盤ごとのレベル調整(左側44鍵盤)

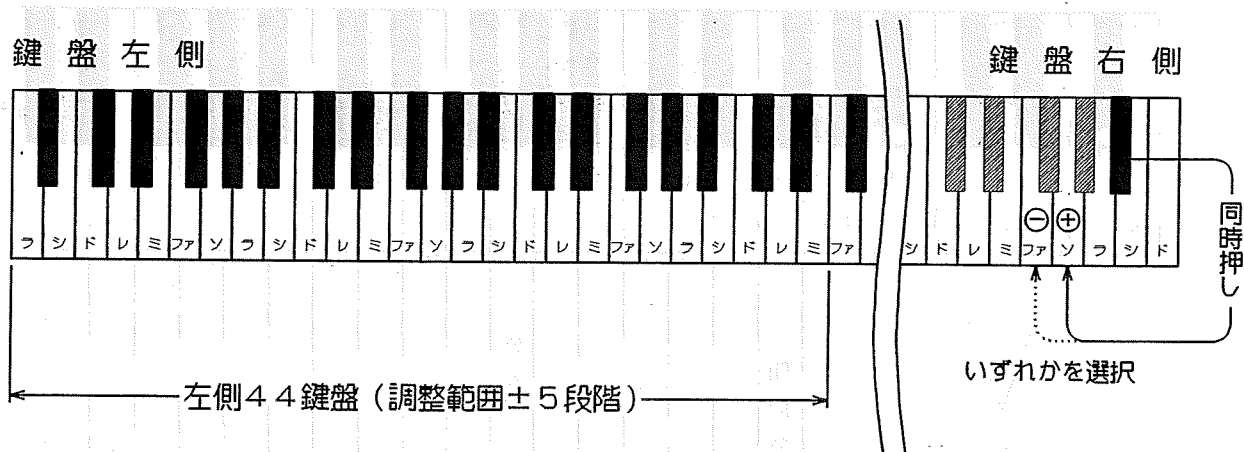
左側の44鍵盤において各鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。  
各鍵盤の調整範囲は±5段階です(出荷時±0)。

### 設定方法

- (1) 音量レベルを上げたい時は、黒鍵と+印の白鍵を押しながら電源を入れます。  
音量レベルを下げたい時は、黒鍵と-印の白鍵を押しながら電源を入れます。  
以降、鍵盤は押したまま。
- (2) 左側の44鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。  
1度押されることで、音量レベルが(1)で選択した側に1段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、変更した値が設定されます。

調整内容をリセットしたい時は、右頁を参照して下さい。

[注意!] 設定した内容は電源を切っても変更されません。



## 5. 各鍵盤ごとのレベル調整(右側44鍵盤)

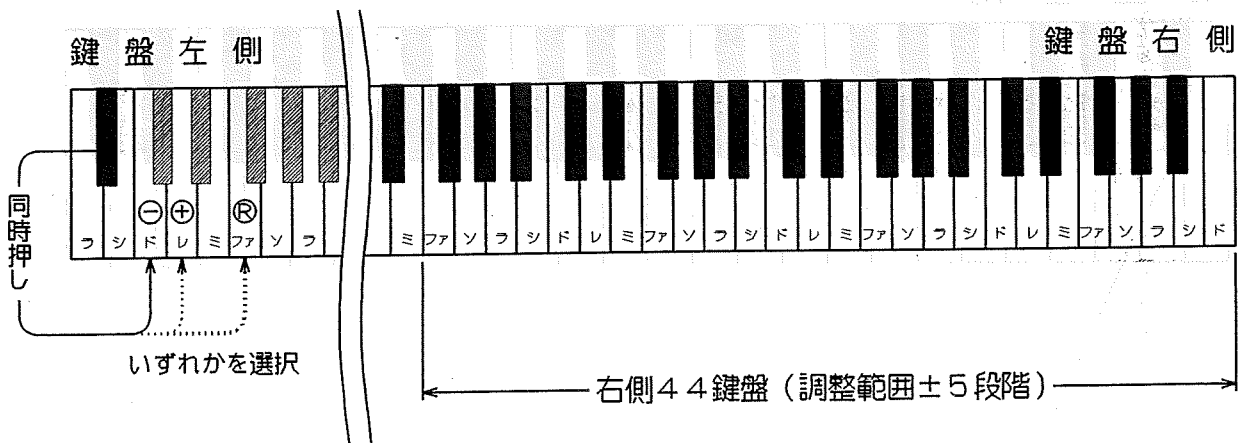
右側の44鍵盤において各鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。  
各鍵盤の調整範囲は±5段階です(出荷時±0)。

### 設定方法

- (1) 音量レベルを上げたい時は、黒鍵と+印の白鍵を押しながら電源を入れます。  
音量レベルを下げたい時は、黒鍵と-印の白鍵を押しながら電源を入れます。  
以降、鍵盤は押したまま。
- (2) 右側の44鍵盤より、レベルの変更をしたい鍵盤を押します。  
1度押されることで、音量レベルが(1)で選択した側に1段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、変更した値が設定されます。

全88鍵盤の調整内容をリセットしたい時は、黒鍵とR印の白鍵を押しながら電源を入れることで、出荷設定(±0)に戻ります。

[注意!] 設定した内容は電源を切っても変更されません。



## 6. 出荷設定に戻す

メトロノーム、音色、リバーブ及びチューニングなど、すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

[注意!] 本設定を行いますと調整した内容も、ユーザが設定した内容も工場出荷時の設定に戻ります。

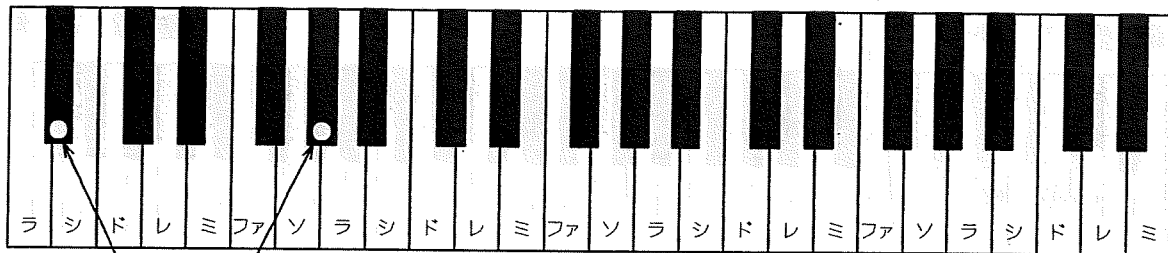
### 設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。出荷設定に戻ったことをチャイム音でお知らせします。
- (2) ○印の鍵盤から指を離します。

### 出荷設定内容

音色：A=ビオラ、B=シンセサイザー1、C=ビブラホーン  
リバーブ：種類=ホーム、深さ=レベル3  
メトロノーム：拍子=4、テンポ=80、音量=レベル3  
チューニング：2頁の●印鍵盤の音=440Hz  
鍵盤取付調整：3  
黒鍵音量調整：白鍵との発音差=0  
各鍵盤ごとのレベル調整：全88鍵盤±0

### 鍵盤左側



押したまま電源を入れる

変更履歴

平成12年 2月15日 初版発行  
平成13年 2月26日 ‘各鍵盤ごとのレベル調整’ 追加

---

消音ピアノユニット SPA-5500  
取付設定

製造元：ニッシンエレクトロ株式会社  
住 所：〒188-0014 東京都田無市芝久保町4-4-32  
電話番号：0424-65-9321（代）  
F A X：0424-65-7255

---

本書の内容は改善の為、予告なしに変更することがあります。